4月の東京都心オフィス空室率、2カ月ぶり小幅上昇 テレワーク普及で解約発生

2022/5/12 11:39

オフィス仲介の三鬼商事（東京・中央）が12日発表した4月の東京都心5区（千代田、中央、港、新宿、渋谷）のオフィス空室率は、前月比0.01ポイント上昇の6.38%と2カ月ぶりに上昇した。既存ビルを中心に拡張・移転に伴う成約が進んだ一方、テレワークの普及でオフィス縮小に向けた解約も出たことで、空室率は小幅に上昇した。

既存ビルの空室率は6.25%と前月比0.02ポイント上昇した。ビジネス地区外からの移転などにより成約の動きがあったが、館内縮小に伴う解約も出て小幅に上昇した。新築ビルの空室率は前月から0.70ポイント低下の19.29%だった。竣工1年未満のビルで小規模な成約があった。

都心5区のうち、千代田区、中央区で平均空室率が上昇した。新宿区、渋谷区で低下し、港区は横ばいだった。

都心5区のオフィス平均賃料は3.3平方メートルあたり2万328円と、前月比0.19%（38円）下げた。下落は21カ月連続。前月に比べて既存ビルは下落し、新築ビルは横ばいだった。

〔日経QUICKニュース（NQN）〕